

市民活動団体と鎌倉市による協働事業
平成28年度実施分

事業評価

鎌倉市協働事業選考委員会

平成28年度に実施された協働事業の事業評価

《概要》

平成29年6月3日(土)午後1時から、鎌倉市役所第3分庁舎講堂において「市民活動団体と鎌倉市による協働事業実施報告会」(平成28年度実施分)を開催し、協働した団体及び担当課から各事業の結果報告が行われました。

その報告を受け、同日午後3時30分から「鎌倉市協働事業選考委員会」を開催し、それぞれの事業評価を行いました。

委員会における事業評価の内容は以下のとおりです。

なお、評価を行った委員会の委員は次のとおりです。

《鎌倉市協働事業選考委員会 委員》

委員長	志村 直愛	東北芸術工科大学 教授
副委員長	土屋 真美子	特定非営利活動法人アクションポート横浜 アドバイザー
委員	村井 知光	公募市民
委員	坂齊 明	特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営 会議 会員
委員	奈須 菊夫	鎌倉市市民活動部 部長

《実施事業》

1. 戦国時代の鎌倉の歴史遺産デジタルアーカイブ事業
… 2 P
2. 史跡協働管理事業
… 3 P
3. 観光案内図作成事業
… 4 P
4. 多言語化メニュー翻訳支援事業
… 5 P
5. コミュニティカフェを目指した鎌倉生涯学習センターロビーの活用検討
… 6 P

● 戦国時代の鎌倉の歴史遺産デジタルアーカイブ事業

★評価の高かった点

- ・ 文化庁の補助金を活用するなど、事業の幅を広げていること。
- ・ 小学生が、体験活動をする機会を設けて、学習する場の提供をしていること。
- ・ 専門性のある事業を行っていること。
- ・ 人材発掘がうまくいっていること。
- ・ 専門的な市民の活躍の場となっていて、専門事業をよい成果でまとめていること。
- ・ 子どもの教育の場となったこと。

★評価の低かった点

- ・ 文化庁の事業と、市との協働で行った事業の区別がわかりづらかったこと。
- ・ デジタルアーカイブ事業自体の成果がみえにくいこと。

★今後に向けての課題点

- ・ 人材について、次世代を担う若手世代は育っていけるような事業となるとよい。
- ・ 一般の人では、難しい専門性もある事業をより広く市民に広げる方法を考えてほしい。例えば、別のグループとのコラボレーション等。
- ・ デジタルアーカイブを今後どのように活用していくのかかわかるようにしてほしい。

《総体的な評価》

とても鎌倉らしい取り組みであり、行政だけではできない活動を団体と連携して実施したということで、協働事業として相応しい取組であった。団体と担当課はよくコミュニケーションが取れており、うまく役割分担をして結果を出している。

今後どのように次世代に伝えていくのかは、課題はあるが、将来的には、他の団体との交流を図っていくなど工夫し、活動の裾野を広げてほしい。

専門性を生かした取り組みであり、多くの人に歴史的遺産に触れてほしいと思う評価に値する事業であった。

● 史跡管理事業

★評価の高かった点

- ・ 行政が必要と感じていることを、団体なりに考えて活動できたこと。
- ・ 事業を行う中で、遺跡としての魅力が向上に繋がったこと。
- ・ 行政と団体の双方で「気付き」や「変化」があったこと。
- ・ 団体だけではなく、担当課の満足度も高いこと。
- ・ 自然を大切にし、市民目線だからできる管理ができたこと。

★評価の低かった点

- ・ 若手世代の参加者が少ないこと。
- ・ 外部への発信あまりできていなかったこと。

★今後に向けての課題点

- ・ より多くの市民に参加を広げてほしい。(学生を巻き込むなど。)
- ・ 自然を基点により多くの特色を出してほしい。
- ・ 体験場の創出が後継者探しにつながるような事業にしてほしい。

《総合的な評価》

行政と団体がそれぞれの役割を果たし、活動する中で新たな魅力を発掘できた点は大変素晴らしい事業であった。活動を広く周知することや、学生のボランティア募集の工夫や後継者の発掘など、課題であるが取り組み方を工夫して継続的に行ってほしい。

団体の市民目線があったからこそできた、協働事業であった。

● 観光案内図作成事業

★評価の高かった点

- ・ きちんとニーズを把握し、さらに市民目線でフォローアップしていること。
- ・ 社会ニーズにも対応していること。
- ・ 団体の特性を引き出したこと。
- ・ 地元ならではの気の利いた地図になっていること。
- ・ 見やすくシンプルで市民目線になっていること。

★評価の低かった点

- ・ レイアウトを工夫し、目を引く（インパクトのある）地図にしてほしい。
- ・ 混雑が減ったという成果のアピールが足りない。

★今後に向けての課題点

- ・ 谷戸だけではなく、他の特色を盛り込んでものを考えてほしい。
- ・ 裏面が白紙のため、裏面の活用を検討してほしい。

《総体的な評価》

行政と団体が内容を検討し、混雑解消という社会ニーズに対して、効果があったことがすばらしい。マップのレイアウトについては、工夫する余地があったと感じる。また、裏面になにも記載されていなかったが、混雑解消のためにまち歩きならではの広告等を掲載すると、効果はもっとあったと思う。

全体的には、地元愛が感じられる市民目線でわかりやすいマップを作成し、行政の求めていたことも達成した協働事業であった。

● 多言語メニュー翻訳支援事業

★評価の高かった点

- ・ NPOの専門性も活かしており、専門的な知識がないとできない事業とニーズのある事業であること。
- ・ きめ細かい対応ができていること。
- ・ 専門ページの登録店舗数が飛躍的に伸びたこと。

★評価の低かった点

- ・ ニーズの調査が足りないと感じた。
- ・ ホームページでのメニューが見にくい。

★今後に向けての課題点

- ・ 財源の確保の工夫が必要。
- ・ 商工会議所や商店街連合会との連携などにより、導入店舗の拡大を図ったらおもしろい。
- ・ どのように事業を継続していくかを考えてほしい。
- ・ お店だけではなく、広く市民に広げること。
- ・

《総体的な評価》

ニーズの高い事業で、専門性を生かした取り組みは評価できる。また、外国人観光客の消費活動の促進のための、飲食店メニューの多言語化を目的としているが、家庭でも用いることによって様々な言語に触れる良い機会になるのではないかと感じた。ただし、今後の課題として、登録団体数や財源の確保等があり、活動の充実化を図る上で重要である。また、広く伝えるためには、ホームページの使いやすさも重要であり、工夫すればよりよいものになると思う。

今後も、活動の幅を広げて、色んな方に有意義な情報を発信して行ってほしい。

● コミュニティカフェを目指した鎌倉生涯学習センターロビーの活用検討

★評価の高かった点

- ・ 今後ロビーをどうしたらよいか、という市民の意見をまとめることは、非常に重要な取り組みであったこと。
- ・ 丁寧な分析から提案をまとめていること。
- ・ 世代交代・社会ニーズの変化など見直すことの大切さを掘り起こす機会となったこと。
- ・ とても丁寧に検討をしていること。

★評価の低かった点

- ・ 報告書だけでは、成果がわかりづらいこと。
- ・ 調整不足が感じられる。(計画に対する実施について、もっと担当課との調整が必要。)
- ・ 今後のプロセスが、わかりづらいこと。

★今後に向けての課題点

- ・ 報告書の活用をさらにつめて、実現可能な計画にしてほしい。

《総体的な評価》

市民目線で、施設をどのように活用していくか検討していくプロセスは大変重要である。また、アンケートを実施して、いろんな方の意見を集約した点も「みんなで活用について検討する姿勢」が伝わった。しかし、今回検討したことを、どのように活かして行くのかという具体的な検討がわからなかったのが残念であり、担当課も検討した内容をどのように実現できるか具体的に考え、必要な処置をとる必要があると感じた。

今後は、報告書に記載されている内容をどのように実現していき、利用する人や新規で利用する人が快適に利用できるようにしてほしい。